

第1回 フォーラム 2010. 2. 28

市民活動団体向け アンケート 集計結果発表



市民活動団体が何を求めているか、協働には何が必要かがわかり、勉強になりました。

2月28日の第1回フォーラムでは、約30名のご参加をいただきました。あんねっとメンバーに市民活動団体の方を加え、まずはアイスブレイキングで和んでから、市民活動団体向けに行ったアンケートの集計結果の発表を行いました。そして4つのグループに分かれて、それぞれのテーマについて話し合いました。

みなさんこんにちは！
長かった冬が終わり、春の風が心地よい季節になりましたね。あんねっとも4回を終え、次のステップが始まることとしています。

市民会議ステップ1を終え、 ステップ2に突入します！

安城市 市民参加条例と 協働に関する指針を考える 市民会議



第2号

ホッペ・DE・グループトーク

「きっと・もっと・できる！安城のパートナーシップ」



ABCDの4つのテーブルに分かれて、グループトーク。ホスト1人を残して前・後半でメンバーを入れ替えて話し合う「ワールドカフェ」という方式で議論を深めました。最後に「安城のパートナーシップ」こうしたらもっと良くなる！提案ベスト3を決めて、発表しましたよ。

発行/安城市市民参加条例と協働に関する指針を考える市民会議
事務局/安城市 市民活動課
TEL(0566)71-2218 FAX(0566)76-1112
MAIL: katsudo@city.anjo.aichi.jp
HOME: <http://www.city.anjo.aichi.jp/>

●「あんねっと」とかわらばんへのご意見・ご感想をメール・電話・FAXで募集します。
●どんどんお寄せください。お待ちしております。

A 市民活動～公益的な活動やまちづくり…もっとたくさんの市民に参加してもらうには？

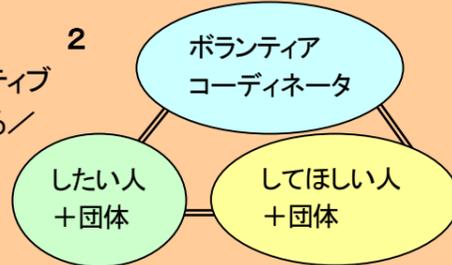
- 1 広報も口コミもどっちも大切
(子供の情報も口コミのテクニックの一つ)
広報は情報の宝庫/みんなが見る方法を
広報以外で考える/口コミの大切さは大きい
- 2 参加の楽しさを伝える(自分が参加するのが一番楽しい！)
時間がない人・若者へのPRが難しい/公民館やお店の前に広報を張る/
高齢者向けに大きな字で書いてみる



3 参加した後のフォローアップが大切(参加したことの評価を次につなげていい方向の展開へ)
人と人とのつながり。他団体の宣伝・コラボ・手紙・電話などのアフターフォロー

B 活動支援～市民活動を応援・支援するしくみ どんなのがあればいい？

- 1 表彰制度
精神的なインセンティブ
(ごほうび)を与える/
企業を表彰する/
選定基準が難しい



ちゃんとしたボランティアコーディネーターが大事/最初は行政が手伝い、だんだん市民でやるように

- 3 情報をみつけやすくする支援
情報の発信も大事/情報は「不足」している。でも「必要でなかったり」する/金銭的には現状では困っていない。だが10年後はどうだろう？/一律支援はどうか？



C 協働/市(行政)と市民活動団体パートナーとしてよよい協働関係を築くには？

- 1 本根(音)トーク
職員が早く帰ったり子供の参観に行くと、結構周りから言われたりへんな目で見られる/要望型をどうやったら提案型にできるか



- 2 お互いに立場を尊重
お互いの欲しているところを理解しないと/お互いの情報提供・共有/それぞれの立場で考える
- 3 お見合(マッチング)
活動団体の素性が分からない/顔の見える関係が重要/一緒に汗を流してやろう/活動団体・市民活動・市民・行政との仲良くなろう会をイベントとして実施



D 地縁と結び～市民活動団体が町内会など地域コミュニティと連携・協働するためには？

- 1 連携コーディネーター(地域と活動団体のニーズ、情報を結ぶ)
連携するときの役割とルールを決め(ゴミ袋、回覧板など)、知ってもらう/地域⇄各団体お互いに協働によるメリットがあることを知る
- 2 情報宝箱(お互いの情報を、必要なときに取り出せる) 必要性をPR
- 3 情報発信の方法(宝箱に収めやすく、色々な立場から)
市民活動団体のPRが少なく、内こもる/町内回覧板に団体の活動PRを入れさせてもらう

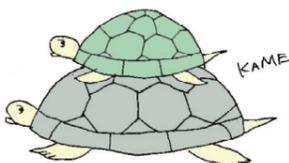


ちよこっとコラム ～カワセミ～

フォーラム会場のわくわくセンター横の池でカワセミを見つけました！カワセミはその美しい外見から「溪流の宝石」などと呼ばれています。こんなきれいな鳥が身近に住んでるなんて驚きです。ぼくの地元(豊橋)にもいるんでしょうか、今度探してみよっと。(大)

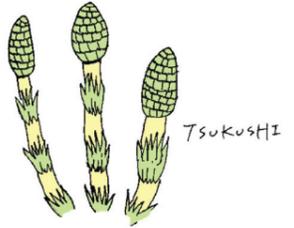
審議会

2010. 3. 23



第1回審議会は、市長のあいさつから始まりました。審議会委員は公共団体代表、企業代表、市民団体代表、市民会議(あんねっと)代表、学識経験者で構成されています。これらの委員が市長の諮問に応じ、条例の原案に関して、必要な審議を行ないました。今回の審議会は、市長から委員への委嘱辞令の交付、名城大学昇教授の講話、市民活動団体向けアンケートの集計結果発表等を行いました。

第4回
2010.3.26



ミニ講座の後、自分が大切にしたいと思う条項に投票



第4回目は、第3回目からの動きについてのお知らせから始まり、その後、加藤ファシリテーターより、ミニ講座として「条例の骨組み(案)」と今後の進め方(案)」についてお話を聞きました。

条例の骨組みはわかりやすい「参加ラダ」で説明を聴き、その後みんなで自分が大切にしたいと思う条項にシールで投票しました。

次回からステップ2へ進むため、分科会のグループ分けをしました。車座になってあ・ん・ねっ・との4グループに分かれ、その後、仲間との協働を推進する上でのトレーニングとしてグループ対抗でゲームを行いました。

ゲームの後、「グループのルール」、「チームで最大の成果を発揮するために大切にしたいこと」を發揮するために大切にしたいこと」についてグループ内で話し合いました。最後に話し合い結果を発表しました。

グループワーク「グループのルール」と「チームで最大の成果を発揮するために大切にしたいこと」

自分が大切にしたいと思う条項にシールで投票。どの条項にもくまなくシールが貼られました。中でも、みんなの興味が集まったのは、ラクダの足にあたる「市民の責務」、胴にあたる「③参加の保障」、尾にあたる「推進・評価機関の設置」でした。

分科会のグループが決まり、ゲームで対決しました!



「マーカービルディングを建ててみようゲーム!」「マチガイを探してみようゲーム!」をグループ対抗で行い、白熱した戦いが繰り広げられました。

あ グループのルール



- ・ 楽しみながら
- ・ チャレンジ
- ・ チームワーク

チームで最大限の成果を発揮するには?
チームワーク/コミュニケーション/声かけ/楽しく/チャレンジ/試してみる/役割分担/自分の特技を活かす/知恵を出す/アイデアをたくさん/素早く

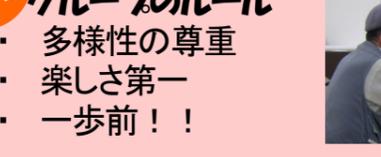
ん グループのルール



- ・ 一生懸命
- ・ カバーし合う
- ・ よくばらない

チームで最大限の成果を発揮するには?
協力、チームワーク/カバーし合う、補完/役割分担/あきらめ→決断力/一生懸命(みなで)やる気が伝わる/着眼点/観察力/自然・あうんの呼吸

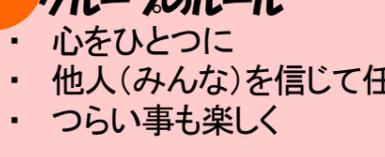
わっ グループのルール



- ・ 多様性の尊重
- ・ 楽しさ第一
- ・ 一歩前!!

チームで最大限の成果を発揮するには?
チームワーク/心をつなぐ/話し合いもよかった/楽しさが必要/遊び心十分である/ユーモアたっぷり/やる気は十分/それぞれの努力は認める

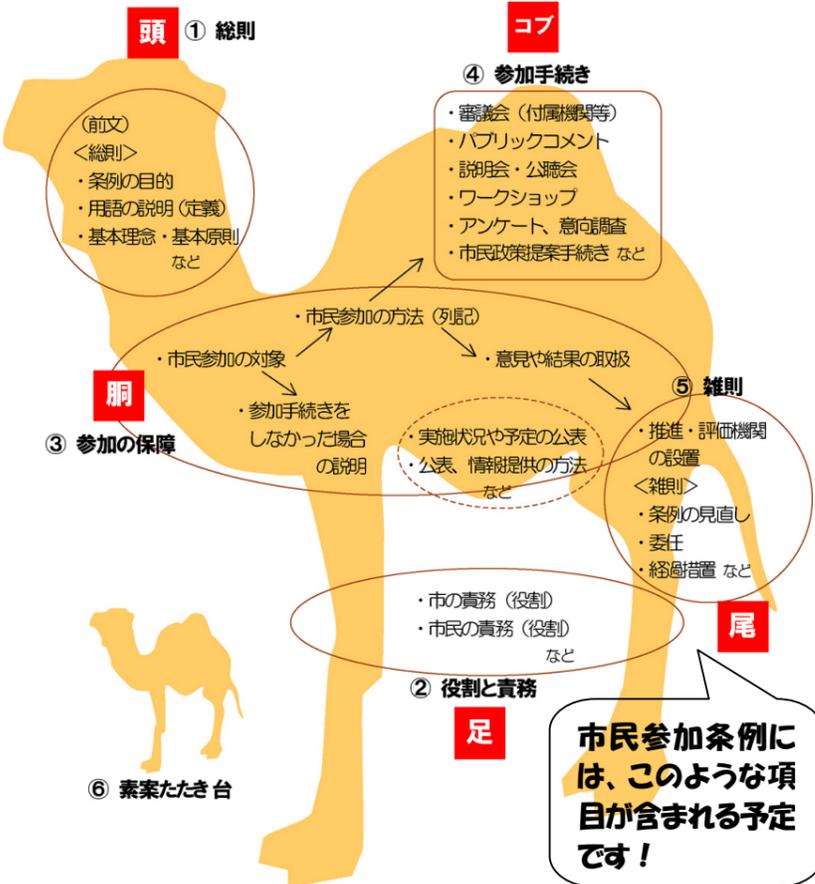
と グループのルール



- ・ 心をひとつに
- ・ 他人(みんな)を信じて任せる
- ・ つらい事も楽しく

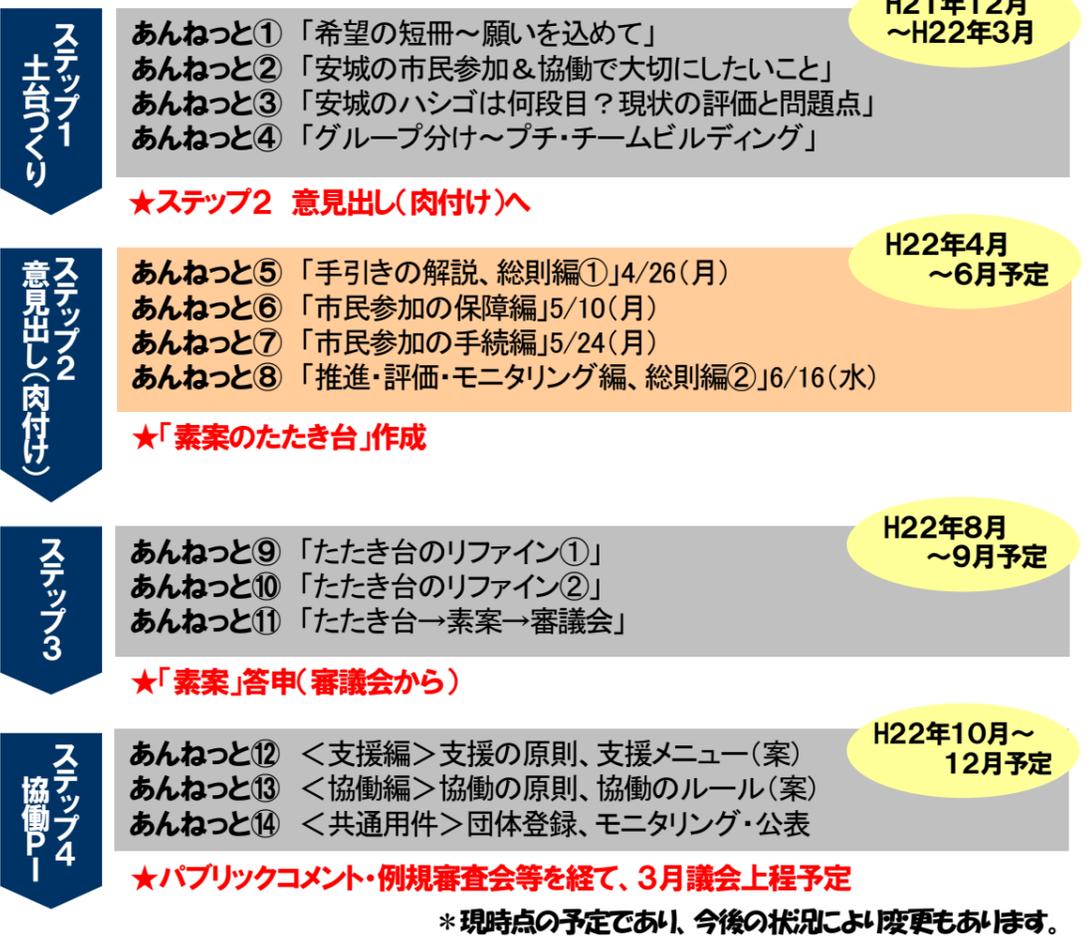
チームで最大限の成果を発揮するには?
チームワーク/心をひとつに/話し合い/意見を聞く/わらっておく/つらいことも楽しく/できないこともやってみる/区割り/分担/他人を信じる

★ 条例の骨組み(案) 参加ラダ～市民自治へ。一歩ずつ……～



*案の段階であり、今後の話し合いにより変更もあります。

★ 今後の進め方(案)



ひとことアンケート

フォーラム① フォーラムで気づいたこと・発見したこと/アンケート結果は納得と同時に驚きもあった。/皆さん、しっかり自分の意見をもって、より良くしようという意識を感じました。

「市民参加条例」や「協働の指針」に期待することは?/多くの市民が理解し易い内容であり、遵守できること。/市民一人一人が、市行政に自分の関わり方はどうなのかを見つけることができるような分かりやすい条例や指針であって欲しい。

あんねと④ グループ内でよく話し合うことができた。/チームビルディングの手法は楽しく、どこかで使わせていただけたらと思います。ゲームが楽しく時間が短く感じました。/すばらしいメンバーと同じ班になれました。/チーム分けがあり、いよいよ本番という感じになりました。

次のステップでは、いよいよ条例の骨組みを話し合ったり、これまでより少し具体的な条例づくりの段階に入っていきます。

今後のあんねとの動きにもご注目ください。

